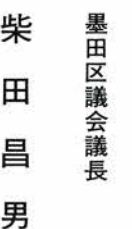




発行 平成3年1月1日
発行所 墨田区議会事務局
〒130墨田区吾妻橋一の23-20
電話 5608-1111(大代表)



平成3年元旦



区民の皆さま、あけましておめでとつございます。日頃から、議会活動に対しご理解、ご支援を賜り心から厚くお礼申しあげます。

昨年は、二十一世紀も間近にせまった九十年代の幕明けにふさわしく、区の永年の懸案でありました庁舎・リバーサイドホールが開かれた区政のシンボルとして、十一月五日にオープンいたしました。

今日、区政をとりまく財政事情は依然として厳しいものがありますが、区民の皆さまの生活に密着した行政は、一日も休むことなく着実に推進させていかなければなりません。

私ども区議会といたしましては、執行機関とともに、新庁舎の完成を契機として、「活力とゆとりのある明るい墨田」の実現をめざし、より一層の努力を重ねてまいります。

今後ともよろしくご協力を賜りますようお願い申しあげ、新年のご挨拶といたします。

墨田区議会は本紙上をもって新年のごあいさつとさせていただきます。

藤崎繁武	大久保明	平川康次郎	木内清	小池武二	熊谷利之	松本のりよし	村松しげあき	出羽邦夫	片倉洋	坂下修	中沢進	乙津一行	阿部幸男	土橋正造	加藤ひろたか	坂岸えいじ	松崎けい子	さかい美穂子	鈴木順子	松野弘子	中村光雄	西原文隆	加藤耕造	佐藤四郎	えんじ勲	そのだ隆明	おおわく常雄	西山恭三郎	牛山れい子	小早川恵子	瀧澤良仁	柴田昌男	早川幸一	樋口丈吉	山崎政吾	甚野緑	村瀬せいこう	渡辺まこと	武ノ内啓次郎
(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(公明党)	(公明党)	(墨政クラブ)	(日本共産党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(公明党)	(公明党)	(日本社会党)	(日本社会党)	(日本共産党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(公明党)	(公明党)	(日本社会党)	(日本共産党)	(日本共産党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(自由民主党)	(公明党)	(日本社会党)	(日本共産党)	(日本共産党)	

(議席番号順)

平成二年第四回定例会

第六学区都立高等学校の

学級数削減計画の見直しを

全会一致で意見書を可決

墨田区議会は、平成二年第四回定例会を十一月十九日から十一月三十日まで、十二日間にわたって開きました。

今定例会は、去る十一月五日にオープンした新庁舎議事堂で初めて行われ、議員が一般質問を行ったほか、区長から提出された決算三件を認定したのをはじめ、議案十四件は、いずれも原案どおり可決しました。また、議員提出議案四件は、条例二件を継続、一件を否決、意見書一件を可決しました。

一般質問

七名の議員が一般質問
本会議初日の十九日から二十一日の三日間にわたって行われ、長及び教育長に質問しました。また一般質問終了後、平成元

年度決算報告三件を起立表決の結果、賛成多数で報告どおり認定しました。次に、新庁舎の完成にともない、庁舎建設特別委員会の調査が終了した旨、委員会報告を了承しました。

意見書を全会一致で可決

最終日三十日の本会議では、委員会で審査した区長提出議案十四件を全会一致で原案どおり可決しました。また、議員提出

議案四件のうち、「墨田区新築家庭間賃貸住宅家賃補助条例」ほか条例一件は継続審査とし、「墨田区老人入居見舞金支給条例」は、起立表決の結果、賛成少数で否決、「第六学区都立高等学校の学級数削減計画見直しに関する意見書」は、全会一致で可決しました。続いて、委員会で審査した陳情三件は、全会一致で委員会審査報告どおり決定しました。（四面参照）

再度立候補し区民の審判を仰ぐ

区長答弁

めるため、再度立候補し、区民の審判を仰ぎたいと考えている。

来年の区長選に再出馬の
意思は

自由民主党

問 来年度予算は、区長の今期しめくくりの重要な予算と思う。予算編成にあたっては、緊急を要するものはもちろんのこと、年間を見通した事業配分にも心を配り、区民に対し積極的な年間計画を周知することの必要性を考慮して、本格的総合予算を編成してはどうか。

また、区長は来年の選挙に再出馬する意思を明確にしていないうが、新庁舎完成時点で再び区政を担当する決意をすることは

自由民主党

問 東京都は、住宅の立退きを余儀なくされている高齢者や障害者に対して、家賃助成を検討しているようだが、この問題に

また、来年の改選にあたり、区議会及び区民の広範な支持を賜り、懸案の解決を積極的に進



新庁舎の総合窓口

第4回定例会
会議開会状況

第4回定例会中に開かれた
主な会議は次のとおりです。

11月

19日	運営委員会	会議
20日	本議会	議
21日	厚生文教委員会	会
22日	厚生文教委員会	会
26日	建設委員会	会
27日	区民衛生委員会	会
28日	総務委員会	会
29日	運営委員会	会
30日	運営委員会	会
	区議会だより編集委員会	議
	本議会	議
	総務委員会	会
	区民衛生委員会	会

区の地域事情を考慮した住宅建設については、シルバークリアを他の施設と合築する計画はあるが、他の住宅建設については、住宅施策検討委員会の検討結果を踏まえて考えていきたい。

職員の意識改革が必要ではないか

問 先般十一月九日の職員労働組合による一時間ストは、区民から批判も出ている。区長は、職員の意識改革をどのように進めようとしているのか。

二十三区の職員が急増し、本区も二年間で八十六人の増となっている。厳しい定数削減が求められているなかで、なお一層の努力が必要ではないか。

ファミリー層、高齢者等に対する
家賃補助制度の導入を

公明党

問 人口の定住対策、区民要望の点で住宅問題の解決が必要である。本区において、二十世紀までの十年間で一万戸の住宅を供給することは、あらゆる施策を駆使することで可能ではないか。また、住宅供給の目標を設定し、努力していく考えはあるか。さらに、住宅基本条例を制定すべきではないか。

本区内の都営住宅も建替えを促進すべきであり、合築可能な施設も区内にあると思うが、区はどう対応するのか。

また、事務事業のスクラップアンドビルドと同時に機器による合理化と民間委託の拡充を図り、新しい行政サービスに対応してはどうか。

ストライキについては、大変遺憾に思っている。今後、より良い区役所をめざし、職員の意識改革に向け努力していく。

また、職員の定数問題は、今後、多様化する住民ニーズに

組合による一時間ストは、区民から批判も出ている。区長は、職員の意識改革をどのように進めようとしているのか。

都の長期計画や台東区の住宅計画が発表されているが、本区は家賃補助制度をどう考えるか。まちづくりと連動した住宅整備に



区内のまち並み

区民犠牲の地方行革を
見直せ

日本共産党

問 区長が一貫して推進してきた行政改革は、区民のくらしや福祉、教育などを直撃しており、区民感覚と大きな離れがあるのではないか。誰もが安心して住み続けられる墨田区の実現を

生涯健康管理システムを導入しては

問 本区でも区民の健康づくりの推進を図っているが、高齢化

の関係を考えたい。

答 保健医療カードシステムを

一環のなかで、構築を図りたい。

どう進めてきたのか。さらに国は行革を自治体に押し付け、区もこの流れをすすんで実行しているのではないのか。

答 行革は長期的に活力ある福祉社会を維持していくため、社

会環境に合わせた必要な措置を講じたものである。また基本構想に基づき、本区特有の職住近接した活力とゆとりのあるまちの形成に努めてきた。さらに本区の行革は自主的判斷で行ってきたものであり、福祉・教育予算にも重点施策として、財源の優先配分をしてくている。

開発優先から福祉・くらし優先に政策転換せよ



新庁舎前の交通渋滞

問 予算編成にあたって、第二福祉作業所や生活実習室の建設計画はあるのか。また区の施策のなかで人口対策や中小企業向けの低金利融資、超高層建築の規制等については、「くらし・福祉・教育優先型」に政策転換する方向で行うべきではないか。

答 第二福祉作業所は、建設予定の「ふれあいセンター」に設置予定であり、生活実習所は福祉保健センター内に設置し対応してきた。

問 新庁舎がオープンし、様々な問題が露呈している。駐車・駐車場の不足、食堂のパンク状態、イライラが募るエレベーターの運行等をどう解決するのか。また新庁舎周辺の商店街の活性化や、周囲の交通渋滞対策、さらには風害対策等はどう対処していくのか。

性化や、周囲の交通渋滞対策、さらには風害対策等はどう対処していくのか。

「平和福祉都市づくり宣言」をどう生かすか

日本社会党

問 「墨田区平和福祉都市づくり宣言」から三年目を迎え、各事業にどう生かされているのか。問い直す時期が来たと考える。「平和」とは戦争がないという事だけではなく、構造的暴力のない状態、環境破壊、公害問題、差別問題、教育問題等の身近な困った問題が解決された状態である。」



平和福祉モニュメント

問 墨田区平和福祉都市づくり宣言から三年目を迎え、各事業にどう生かされているのか。問い直す時期が来たと考える。「平和」とは戦争がないという事だけではなく、構造的暴力のない状態、環境破壊、公害問題、差別問題、教育問題等の身近な困った問題が解決された状態である。」

問 墨田区平和福祉都市づくり宣言から三年目を迎え、各事業にどう生かされているのか。問い直す時期が来たと考える。「平和」とは戦争がないという事だけではなく、構造的暴力のない状態、環境破壊、公害問題、差別問題、教育問題等の身近な困った問題が解決された状態である。」

問 新庁舎がオープンし、様々な問題が露呈している。駐車・駐車場の不足、食堂のパンク状態、イライラが募るエレベーターの運行等をどう解決するのか。また新庁舎周辺の商店街の活性化や、周囲の交通渋滞対策、さらには風害対策等はどう対処していくのか。

平成元年度各会計決算を認定

決算特別委員会で活発に審査

区議会は、昨年の十月九日から十月十九日まで、実質八日間にあつて決算特別委員会を開き、平成元年度墨田区一般会計、同国民健康保険特別会計、同老人保健医療特別会計の各歳入歳出決算の審査を行いました。

委員会で主な質疑

- CIの成果と今後の進め方
- 職員の海外研修の現状と対策
- 選挙執行費の超過負担の解消
- 放置自転車対策の現状と課題

精神的に審査を行いました。委員会の最終日には、各会派の委員の代表者が各会計決算について意見開陳を行った後、起立表決により、いずれも賛成多数で報告どおり認定すべきものと決定しました。

- 駐車場対策の今後の対応
- 緑化対策の現状と今後の対応
- 高齢者住宅あつせん事業の現状と今後の対応
- 老人家庭奉仕員派遣事業の現状と強化
- すみだボランティアセンターの管理運営
- 訪問看護指導の現状と今後の対応
- 工場アパート事業の現状
- ファッションセンター計画の進捗状況

一般会計		
歳入	80,265,227	千円
歳出	77,012,293	千円
国民健康保険特別会計		
歳入	13,862,660	千円
歳出	13,467,451	千円
老人保健医療特別会計		
歳入	11,571,998	千円
歳出	11,570,920	千円

区民に親しまれる新庁舎の管理運営は

墨政クラブ

問 新しい庁舎が完成したことにとまないスーパ一提防と一体化されたらうおい広場を、今後どう活用するのか。また、区民が利用する際の条件等を伺う。さらに、庁舎移転後の職員の意識改革をどう進め、区役所運営の簡素、効率化を図っていくのか。

答 うるおい広場、ふれあい広場は積極的に活用したい。利用にあたっては、周辺住民への影響等に配慮して、事前の届出が必要だが、自由な使用を基本にして管理したい。

今後とも、CI運動を通じて、あたたかな行政を追求したい。また、新庁舎の機能を生かして、行政の効率化、経費節減を図りたい。

婦人問題の解決にどう取り組むのか

問 国際婦人年以來、婦人を取りまく環境の変化をどうとらえるか。また、区として婦人問題にどう取り組んでいくのか。現



うるおい広場

「新しい東京23区を実現する集い」が開かれました

昨年の十一月二日、日比谷公会堂において、東京23区議長会・区長会の主催による「新しい東京23区を実現する集い」が開かれ、23区からの代表をはじめ約二千名が参加しました。



問 区議会は、この新たな段階を迎えて、今後も区民の皆さまとともに、制度改革の早期実現に向け、なお一層努力してまいります。

議決した意見書(要旨)

第八学区都立高等学校の学級数削減計画見直しに関する意見書

東京都教育委員会が、去る十一月九日に発表した来年度の都立高等学校入学予定人員は、全体で百一十一学級、六千百七十七名が削減されることとなっており、本区の属する第六学区においても、普通科で九校学級、延べ六百一十一名の定員削減が予定されています。

また、平成二年三月の中学卒業生に対する都立高等学校普通科の受け入れ率が、全都平均で三十八・六パーセントであるのに対し、当第六学区においては、二十九・九パーセントに過ぎず、現状においても全学区中最低の割合となっているにもかかわらず、今回の募集計画がそのまま実施されるならば、平成三年度においては、更にその割合が二十九・一七パーセントと低下し、他学区の普通科受け入れ率との割合は、その差がますます開く計画となっています。

近年、社会的な高学歴化の傾向の中で、進学志向の高まりとともに、職業科よりも普通科への進学を望む中学生は増加しており、こうした状況のなかで都立高等学校普通科の学級数を削減することは、時代の要請に逆行するものと指摘しなければならず、とりわけ、他学区との著しいアンバランスに直面する第六学区内の中学生に対しては、普通科への進学を相対的に狭めているといわなければなりません。よって、墨田区議会は、来年度の第六学区都立高等学校の学級数削減計画を早急に見直すとともに、将来に向けて抜本的な対策を講じられるよう強く要望します。

東京都知事・東京都教育委員会委員長 あて

常任委員会の動き

主な審査内容

区議会では、多様化、専門化した行政事務を合理的・能率的に審査・調査するため、四つの常任委員会を設置しています。本会議に提出された条例等の議案や、受理された請願・陳情の審査は、常任委員会で行われます。今定例会中の常任委員会の概要は次のとおりです。

総務

11月28日
議案十件、請願一件を審査しました。

その中で、「平成二年度墨田区一般会計補正予算」は文化会館建設基金積立金追加約一億八千万円などを含む計九億七千万円余りが計上されており、原案どおり異議なく決定しました。

また議員提出議案「墨田区新婚家庭民間賃貸住宅家賃補助条例」は、区内の新婚家庭に家賃補助を行うことにより若年層の定住促進を図ろうとするもので、各委員から「人口減少の要因は



文化会館完成予想図

家賃だけでなく、広範な角度からの検討が必要である」「総合的な世帯への対策が求められている」等の意見が出され、今後も引き続き調査・研究する必要があるとして継続審査としました。

区民衛生

11月27日

「革靴の関税割当制度の維持・強化等に関する陳情」一件を審査しました。

この陳情は、各委員から「靴製造の事業所は、近年減少傾向にあり、ぜひ関係機関に働きかけてほしい」「貿易自由化の傾向の中で、本区の地場産業を守ることは重要だが、関税割当制度の維持や靴の分類規格の明確化は難しいのでは」「輸入制限の緩和がもたらす影響をもっと研究する必要がある」等の意見が出され、今後なお慎重に調査・検討する必要があるとして継続審査としました。

建設

11月26日

議案二件を審査しました。「墨田区立公園条例の一部を改正する条例」は、中之郷児童遊園を公の施設として設置するもので、また、「墨田区公衆便所に関する条例の一部を改正する条例」は、隅田公衆便所（墨田四丁目）を廃止するもので、い



区内の靴製造事業所

大型店による影響調査の速報がまとまったとの報告等がありました。

11月30日
職員の給与改定にともなう「平成二年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算」一件を審査し、原案どおり異議なく決定しました。



中之郷児童遊園建設予定地

厚生文教

11月22日

議案二件、請願一件、陳情三件を審査しました。

その中で、議員提出議案「墨田区老人入院見舞金支給条例」は、老人が入院したとき、見舞金を支給し、福祉の増進を図ろうとするもので、各委員から自治体でできる限りのことはすべきだ」「老健法の肩代わりになるので反対だ」等の意見が出され、起立表決の結果、賛成少数で否決しました。また、議員提出議



区内の都立高等学校

案「墨田区高齢者民間賃貸住宅家賃等助成条例」は、民間の賃貸住宅に住む高齢者に家賃等を助成し、住宅と生活の安定等を図ろうとするもので、各委員から「慎重に検討すべきだ」「緊急の施策として実施すべきだ」等の意見が出され、今後も引き続き調査・研究する必要があるとして、継続審査としました。

次に、「精神薄弱者に対する鉄道運賃等の割引に関する陳情」は、「趣旨に沿うよう努力された」との意見を付して、異議なく採択しました。また、「都立高校学級数削減反対に関する陳情」は、各委員から「第六学区の学級数削減には反対する」「第六学区の見直しを要求すべきだ」等の意見が出された後、異議なく採択しました。

海外行政調査を実施

北欧三か国の都市を訪問

区議会は、昨年七月十六日から七月二十七日までの十二日間、にわたって、第四次海外行政調査を実施しました。

この海外行政調査は、先進諸外国の都市を訪問して友好親善を図るとともに、福祉、教育、産業、文化、都市問題等の実情を調査研究することによって国際的な視野を広め、その成果を

区政に反映させることを目的として実施しているものです。今回の調査団（樋口文吉団長ほか十一名）は、ストックホルム、ヘルシンキ、コペンハーゲンなど、北欧三か国の都市を訪問し、議会制度、オンブズマン制度、障害者福祉、老人福祉、市街地再開発など、連日、にわたって精力的な調査を行いました。

帰国後、報告書を取りまとめ、議長あてに提出しましたが、この報告書では、北欧三か国が福祉国家として永い歴史を持つばかりでなく、伝統に根ざした都市景観やまちづくりに対する考え方、オンブズマン制度の実情、わが国との議会制度の相違点など、今後の区政進展に参考とすべき点が多かった。また、多くの人々と友好を図ることができて、有意義な調査を終えた」と述べています。



ストックホルム市議会を訪問

請願・陳情の審査結果

採択したもの

- ◎ 精神薄弱者に対する鉄道運賃等の割引に関する陳情（意見）趣旨に沿うよう努力された。
- ◎ 「義務教育費国庫負担法」の改正反対に関する陳情（意見）趣旨に沿うよう努力された。
- ◎ 都立高校学級数削減反対に関する陳情

継続審査としたもの

- ◎ 高齢者対策に関する請願
- ◎ 法務局職員の大増員に関する請願
- ◎ 新婚家庭への家賃補助制度の導入等に関する陳情
- ◎ 革靴の関税割当制度の維持・強化等に関する陳情

「地下鉄八・十一号線建設促進決起大会」が開かれました

昨年十一月八日、墨田区・江東区・葛飾区・松戸市の三区一市合同により、営団地下鉄八・十一号線の建設促進を求める住民決起大会が、六百人余りの参加を得て、江東区文化センターにおいて開かれました。

当日は、本区から区民の代表の方々が参加されたのをはじめ、区議会からは議長及び多くの議員が、区側からは区長などがそれぞれ参加しました。



地下鉄8・11号線建設促進住民決起大会

大会では、早期建設を実現させるため、①運輸省は、地下鉄八号線の事業免許申請を速やかに許可すること②帝都高速度交通営団は、地下鉄十一号線の事業免許を速やかに申請すること―を全会一致で決議し、運輸大臣及び営団総裁に対して、その早期建設を強く要請しました。

墨田区を訪れた地方議会

昨年七月三十日以降、視察のため本区を訪れた地方議会は次のとおりです。

- （一）内は調査事項
- 練馬区議会 7/30（庁舎問題）
- 大津市議会 8/21（CI構想）
- 奈良県香芝町議会 10/22（自転車リサイクル事業）
- 江戸川区議会 10/23（福祉保健センター）
- 江東区議会 11/13（防災センター）
- 下関市議会 11/28（議会運営）
- 台東区議会 12/11（新庁舎）
- 板橋区議会 12/13（福祉保健センター）
- 杉並区議会 12/18（新庁舎）
- 新浜市議会 12/19（桜橋）
- 文京区議会 12/20（新庁舎）

あともがき

あけまして、おめでとうございませう。

昨年は新議事堂がオープンしましたが、一度はご覧いただけただろうか。

本年も区議会の活動を皆さんにお知らせするために、わかりやすい区議会だよりの発行に努めてまいります。

ご意見や本会議などの傍聴のご希望がございましたら左記にご連絡ください。なお連載「隅田川のほとり」は紙面の都合により休ませていただきましたのでご了承ください。

区議会事務局 調査係
☎五六〇八一六三三二